

『第23回 住生活月間功労者住宅局長表彰』を受賞

アキュラホーム、東日本大震災の復旧・復興への取り組みに評価

社団法人日本木造住宅産業協会(以下 木住協)に加盟する株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)は、東日本大震災の復旧・復興における応急仮設住宅の建設が評価され、『第23回住生活月間功労者住宅局長表彰』(主宰:国土交通省)を受賞いたしました。

当社は木住協から要請を受け、4月28日より宮城県南三陸町の入谷中学校跡地、歌津中学校、伊里前小学校の3団地の応急仮設住宅を建設しました。期間中延べ4800人(多い日は約300人)が現場に入り、27日(実工事24日)で完成させ、5月27日に全戸の引渡しを完了しました。

“安全安心で快適な生活を送れる家”をご提供するため、宮城県の気候と多様な住空間に対応できるよう工夫しています。例えば冬の防寒対策として、床や天井等は基準を上回る断熱性能を持たせ、全ての窓に複層ガラスと樹脂アングル枠サッシを採用することで、結露を抑えます。また、下がり壁をなくし間仕切を引戸にすることで、室内の開放感をアップするとともに、1部屋としてご利用いただくことも2部屋に区切ることも可能。様々なご家族の暮らし方に対応できます。室内中央には木の温もりを感じていただけるよう、柱を表しとしています。



10月10日徳島グランヴィリオホテルで行われた合同記念式典

— アキュラホーム代表取締役社長、宮沢俊哉コメント —

このたび受賞しましたことは大変名誉なことです。応急仮設住宅の要請をいただきました木住協とご協力いただきました関係各位の方々には心より御礼申し上げます。微力ではございますが、東日本大震災の被害に遭われた方々の一助となれば幸いです。今後も継続的な支援をおこなっていくとともに、住宅事業者としてさらなる進化・成長を目指してまいります。



伊里前小学校グラウンドに建築した応急仮設住宅の室内

「住生活月間功労者住宅局長表彰」とは・・・

国土交通省では、豊かな住生活の実現に資する総合的な啓発活動を推進するため、平成元年から毎年10月を「住宅月間」(現 住宅生活月間)と定めました。そして同行事の一環として住意識の向上とゆとりある住生活の実現及び建築物の質の向上を図るため、各分野において活躍された個人・団体に対して「国土交通大臣表彰」及び「住宅局長表彰」を行っています。今年度はこのたびの東日本大震災により、住宅をなくされた被災者の方々のための応急仮設住宅の建設に功績を挙げた社団法人住宅生産団体連合会をはじめ、当社が加盟する木住協ほか105団体が表彰されました。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560